

製品名: T2R10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18558**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	TAS2R10
別名	TAS2R10; Taste receptor type 2 member 10; T2R10; Taste receptor family B member 2; TRB2
遺伝子 ID	50839.0
SwissProt ID	Q9NYW0
免疫原	抗血清はヒト TAS2R10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 122-171

背景

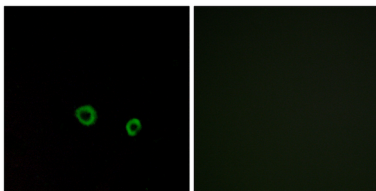
この遺伝子産物は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーに属する候補味覚受容体ファミリーに属します。これらのタンパク質は、舌および口蓋上皮の味覚受容体細胞に特異的に発現します。ゲノム中ではクラスター状に配列しており、マウスおよびヒトの

苦味知覚に影響を与える遺伝子座と遺伝的に連鎖しています。機能発現研究では、苦味物質に反応することが示されています。この遺伝子は、染色体 12p13 の味覚受容体遺伝子クラスターにマッピングされています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 口腔および消化管における苦味物質の知覚に関与する、ガストデューシン共役ストリキニーネ受容体。PLCB2 およびカルシウム調節性陽イオンチャンネル TRPM5 を介したシグナル。、その他: 1 つの味覚受容体細胞に複数の苦味受容体が発現している。、類似性: G タンパク質共役受容体 T2R ファミリーに属している。、組織特異性: 舌および口蓋上皮の味覚受容体細胞のサブセットおよびガストデューシン陽性細胞にのみ発現している。、

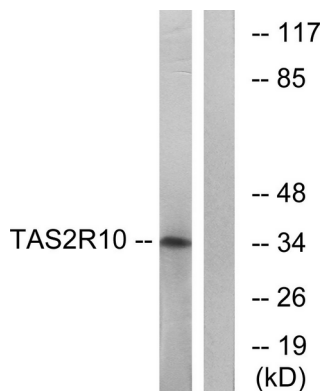
研究分野

味覚伝達;

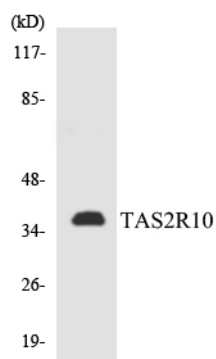
画像データ



TAS2R10 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TAS2R10 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TAS2R10 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。